

土木工学・建築学委員会企画分科会
環境工学連合小委員会（第24期・第8回）
議事録

日時 令和2年9月3日（水）10:00～12:00

会場 Zoom

出席者：米田、浅見、嘉門、森口、江頭、新苗、大岡、高島、大泉、坂巻、玄地、奥田、神原、醍醐、金澤、西島、小口、村上（文責）

オブザーバー：後藤（環境科学会次期委員）、党（機械学会次期委員）、皆川（日本鉄鋼協会事務局）、桃井（土木学会事務局）、足立、河瀬（日本化学会事務局）、宇都宮（資源・素材学会）

配付資料（メールにて事前配布済み）

資料 1 環境工学連合小委員会（第 24 期・第 7 回）議事録

資料 2 延期した第33回環境工学連合講演会の扱いについて

資料 3 第 34 回以降の環境工学連合講演会の運営体制及びテーマについて

資料 4 第 25 期の小委員会活動に向けて

議事

議事に先立ち、定足数を満たしていることの確認があった。

1. 前回議事録の確認

- 資料1に基づき森口小委員長から前回議事の概要について、COVID-19によるその後の状況変化や本日の議題との関係を交えて説明があった。
- 2. 延期した第33回環境工学連合講演会の扱いについて
 - 資料2に基づき森口小委員長からこれまでの経緯の説明があった。
 - 基本的には「今回のSDGsのテーマを持ち越して来年度の講演会を実施。講演者から希望があれば、講演概要の内容も更新可とする。」と言うのが暫定的な結論である。これを踏まえて本日議論をして欲しい。
 - 出来れば講堂を使った講演会としたいが、もしそれが難しい場合にはオンラインでの実施とする。オンライン開催の場合の詳細には主幹事学会を中心に今後検討していくこととなった。
 - また、対面開催は可能だが学術会議講堂が使用できない場合もあり、その場合には主幹事学会の講堂などを中心に検討することとなった。
 - 対面開催が可能である場合においても、オンラインを併用するような可能性も検討することとなった。
 - 日程については主幹事学会である土木学会の講堂の空きなども踏まえ、5月25日を第1候補、11日を予備候補として検討を進めることとなった。
 - 講演者に対しては主幹事学会から現時点での状況を連絡することとし、諸事情で講演者の変更等の必要がある場合には再度調整することとなった。

3. 第34回以降の環境工学連合講演会の運営体制及びテーマについて
 - 森口小委員長から資料3に基づき説明があった。
 - 34回のテーマについて「環境工学の22世紀」というテーマで検討中である旨、主幹事学会である日本化学会から紹介があり、方向については特に異論無く認められた。
 - 資料に関しては会議後共有することとなった。
 - ただし本格的な検討は25期始まって以降のこととした。

4. 第25期の小委員会活動に向けて
 - 森口小委員長から資料4に基づき説明があった。
 - ちょうど学術会議の期が変わり、改めて小委員会の設置となることから、各学協会におかれては可能な限りこのタイミングで委員の交代について検討を頂きたい。

5. その他
 - 浅見、米田、嘉門各委員から総括のコメントを頂き会議を終了した。

以上